

(様式 1)

平成 31 年度 岩手県立水沢商業高等学校学校経営計画

校長：千葉 尚

1 現状把握及び将来展望		生徒	保護者	地域住民	他:中学校, 企業等
	(1)学校に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> わかる授業と学力の向上 部活動等充実した生活 専門の上級資格取得と進路目標の達成 	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健全な成長と安全、安心な環境 学習意欲と学力の向上 進路希望の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した特色ある教育 地域産業に貢献する人材育成 部活動等の活躍 	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じた教育の展開 望ましい勤労観と職業観の育成 高校教育の質保証
	(2)パートナーとの関係	<ul style="list-style-type: none"> 教職員に対する信頼 自主的な学習と生徒会の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営に対する協力と参画 相互の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事等への参加要請と連携 商業教育の成果の提供や提案 	<ul style="list-style-type: none"> 商業教育に対する理解の浸透 各種キャリア教育に対する実践的支援
	(3)学校に影響を与える変化	<p>ア 人口減少社会における教育に対する関心と期待の多様化・高度化 イ グローバル化、高度情報化、高校教育改革の進行 ウ 新たな県立高等学校再編計画</p>			
2 校訓・教育目標	<p>【校訓】 明淨直 【教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る人間を育成する。 志を高く堅持し、たゆまぬ向上心を持って努力する強固な意志と旺盛な意欲を養う。 広い視野に立って物事を考え、礼節を重んじる態度を養う。 勤労を貴び、協調と奉仕の精神を養う。 				
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標		
		<p>ア 学習指導の充実：基礎基本（活用できる）の定着と実践的・体験的なビジネス教育を推進する。</p> <p>イ 生活指導の充実：「いわての復興教育」を基盤にしながら、社会生活につながる生活習慣や目標達成のための意欲的活動を行うことにより自己肯定感を高める。</p>	<p>○生徒：家庭学習 1 時間以上の割合 60%以上(生徒アンケート)</p> <p>○教員：全教員の授業公開実施率 50%以上(互見授業等実施記録)</p> <p>○生徒：自分にはよいところがある 3.0 以上(学校評価)</p> <p>○生徒：学校はいじめ防止や早期発見に取組んでいる 3.4 以上(学校評価)</p>		

	<p>ウ 進路指導の充実:社会人基礎力の育成を念頭にした系統的キャリア教育を推進する。</p>	<p>○1年生徒:進路指導を適切に行ってい る 3.3以上(学校評価) ○保護者:きめ細かい進路指導をしてい る 3.1以上(学校評価)</p> <p>エ 情報共有の推進:チーム(学校組織)としての力を発揮するとともに、関係者との円滑な意思疎通を図る。</p> <p>○教員:分掌や学年間の連携が円滑である 3.0以上(学校評価) ○保護者:学校の情報や様子を知らせて いる 3.0以上(学校評価)</p> <p>オ 創立90周年記念事業を契機に、 単独商業高校だからできる商業教育の新たな方向性を探る。</p> <p>○教員:研修等に積極的に参加している 3.0以上(学校評価) ○生徒:特色ある教育活動を行っている 3.2以上(学校評価)</p>
(2)取組方針	<p>ア 生徒自ら進んで学習に取り組む姿勢を身につけさせる。</p> <p>(ア) 全ての教科・科目において言語活動や他者と協働して課題解決する活動を取り入れ「学びに向かう力」を高める。</p> <p>(イ) 専門教科は、ビジネス体験との接続を意識した学習を展開するとともに、高度資格取得への意欲を高める。「課題研究」は探究的活動を展開する。</p>	
	<p>イ 各教育活動のねらいを生徒と教職員が共有するとともに、振り返りを重視する。</p> <p>(ア) 生徒が、自主的・自発的に行動できるよう、様々な生徒会活動の場面で自ら考え・判断する姿勢を育てる。</p> <p>(イ) 自然災害等に「そなえる」教育活動(いわての復興教育)を各教育活動の中で具体的・実践的に取り入れて実施する。</p> <p>(ウ) 生徒個々に応じたかかわりができるよう、全教職員が特別支援教育に関する理解を深め、態勢を確立させる。</p>	
	<p>ウ 商業教育の学びを活かし、多様な進路希望に対応できるキャリア教育を、学年・教科・学科と連携しながら充実し、個々の進路目標を実現させる。</p> <p>(ア) 就職や進学に関する情報収集に努めるとともに、タイムリーな提供(面談・進路便り・ガイダンス等)を行う。</p> <p>(イ) ポートフォリオの活用を推進する。</p> <p>エ 日常的に教職員が直接対話する機会を作り、仕事の見える化を推進する。</p> <p>(ア) 会議や打合せは短時間で設定するため、事前資料配付を徹底し、意見交換と協議のための時間とする。</p> <p>(イ) 保護者と直接面談する機会を捉えて、情報共有を図る。</p> <p>オ 単独商業高校としての強みを活かした特色ある教育活動を展開する。</p> <p>(ア) 普通教科と専門教科が相互に連携した授業展開を提案する。</p> <p>(イ) 模擬株式会社ござえんちやプロジェクトを全学科経営へ移行する。</p>	